

やさしくわかる介護者向けの 失語症

3回シリーズ

No.1 失語症とは 症状・構音障害・認知症との違い

No.2 失語症の評価と訓練

No.3 コミュニケーションの方法と地域支援

やさしくわかる介護者向けの高次脳機能障害

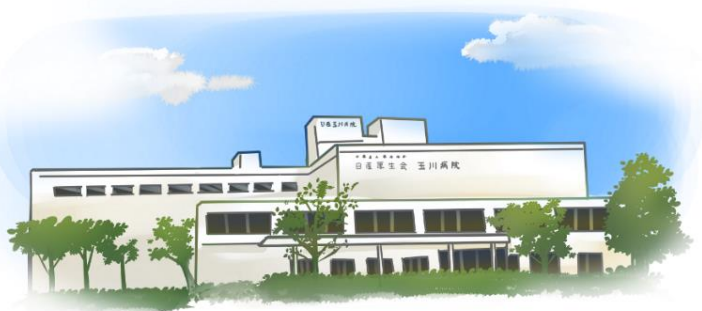
No.3 コミュニケーションの方法と地域支援

2024年3月6日

公益財団法人 日産厚生会玉川病院

リハビリテーション科

言語聴覚士 長峯 彩花



コミュニケーションの方法

失語症の方との コミュニケーション方法

目次

- ①失語の方に話しかけるときのポイント
- ②失語の方の話を聞く時のポイント
- ③事例（動画）
- ④失語症と構音障害・認知症の違い

失語の方に話しかけるとき

● ゆっくり話す

単語で区切るように意識して話す
一文字で区切らない



今日は 雨が 降ります



きょうは あめが
ふります

● 短く簡潔に話す

一文が長くないように要点をまとめる
キーワードをはっきりと伝える



おいしいりんごをもらっ
たから、今日の晩ご飯
のあとに…べらべら…
食べましょうか



りんごもらったよ。
食べる？

● 分かりやすい言葉を使う

- ・抽象的な語は理解が難しいため具体的な語を使用する
- ・同じ意味の別の言葉に言い換える
- ・馴染みのあるよく使う言葉(高親密度・高頻度)を使う

● 繰り返し伝える

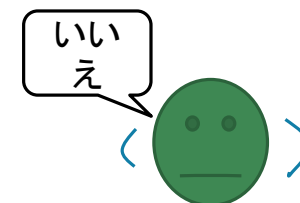
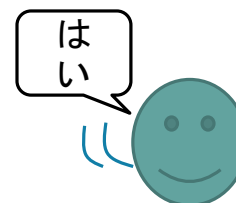
- ・一度言っただけでは伝わらないことがあるため、繰り返し伝える

● 答えやすい質問に変える

・「はい」「いいえ」で答えられる質問に言い換える

・選択肢を提示する(選言質問)

ex「お子さんは 男の子？女の子？」



・指さしを促す

文字やイラストの選択肢を提示し指差し求める

単語で書く 選択肢が多くなりすぎないようにする

● 視覚情報の提示

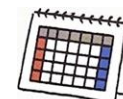
- ・文字を使用する

要点を文字に書いて示す

仮名文字よりも漢字の方が伝わりやすい

- ・簡単な絵を描く
- ・ジェスチャーを使いながら話す

お助けグッズとして、
カレンダー 地図 時計 実物 スマホなどの使用も有効
※五十音表や筆談は有効でないことが多い



カレンダー



地図

失語の方の話しを聞くととき

● 話をじっくり聞く

話しをさえぎらない まずは聞く

頭に浮かんでいる単語にかぶさってしまい、混乱してしまう

途中で代わりに続きを話さず、最後まで聞く

● 言葉が出てこないときは質問する

はい/いいえで答えられる質問を試してみる

相手が話したい内容が推測できない場合は大まかな話題

から聞き、範囲を狭めていく

● 言語以外の表出を促す

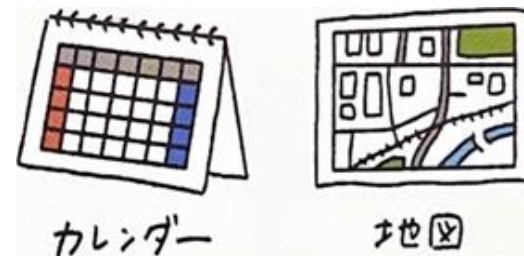
絵を描いてもらう、文字(一部でも)を書いてもらう、ジェスチャーを促す
(大きさ・形など簡単なもの等)

● 環境に配慮する

周りの雑音を減らし、一度に何人も話しかけない
集中して話を聞いてほしいときはテレビを消すなど環境づくりが大切

● 聞き間違いを防ぐために

- ・丁寧に内容の確認を行う
 - 再度内容を要約してわかりやすく確認
 - 反対の質問をする
 - 文字や描画で確認をする



□ 誤った言葉が出た場合

会話の流れから推測できる場合は訂正しない

確認する場合は「～～ですか？」「～～のことですね？」と

さりげなく聞く

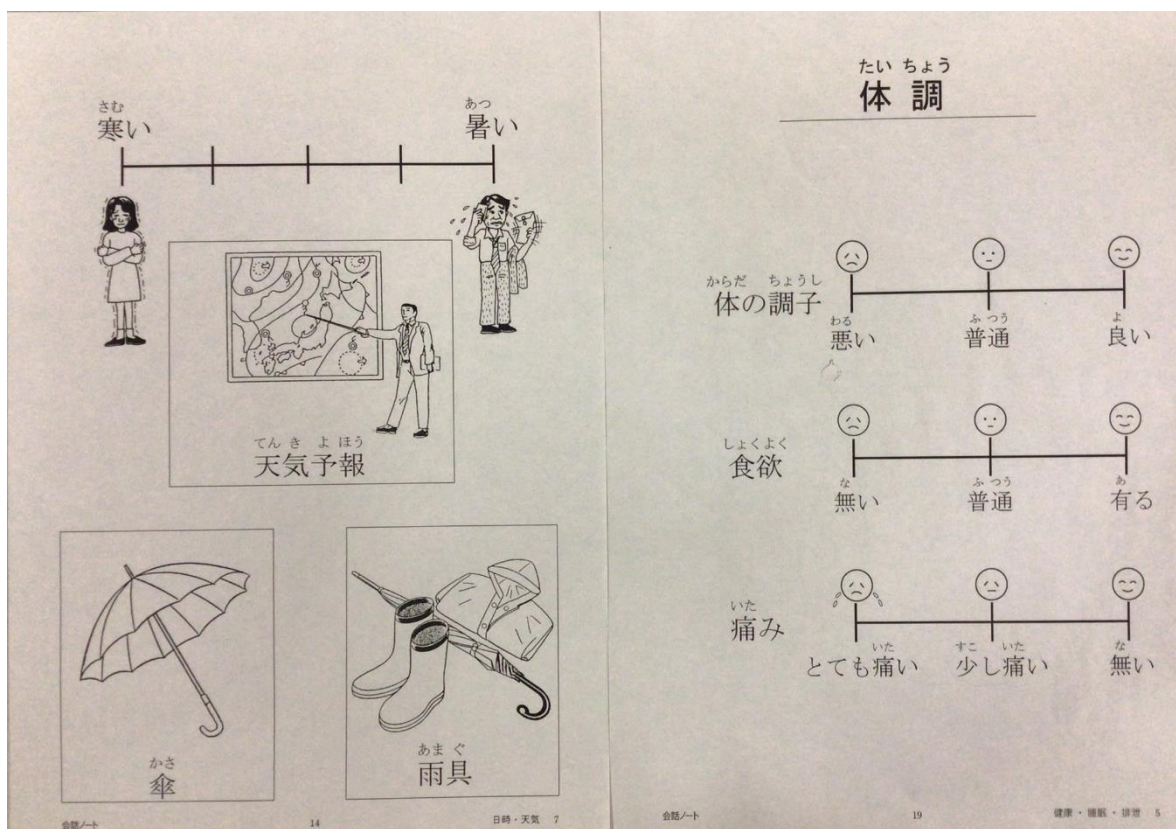
コミュニケーション場面の例 (入院生活での困りごとについて聞く場面)

- ・はっきりした言葉は出ず、「あー」のみの発話
- ・理解は会話場面では単語レベルで可能だが、頷きや首振りも曖昧。
- ・指差しは可能



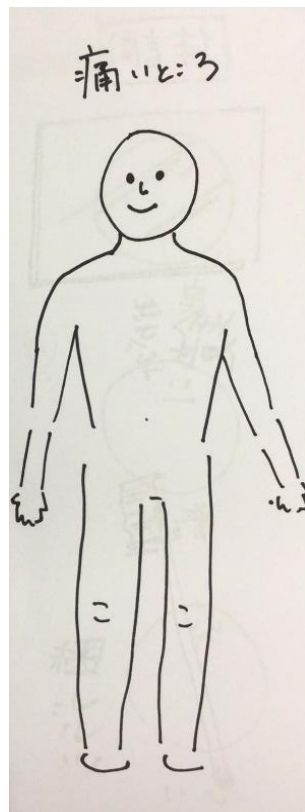
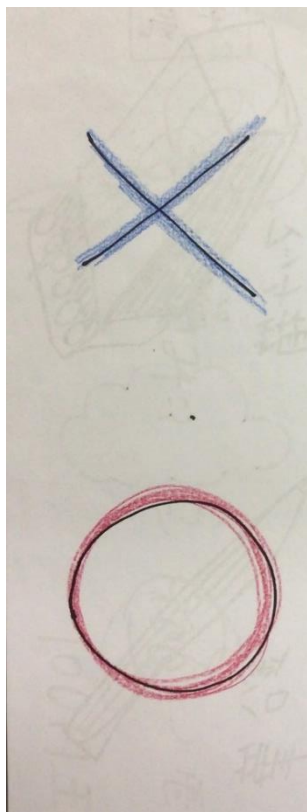
補助コミュニケーションツール

● 会話ノート



● 当院で使用しているもの

選択肢は少なく2~3個程度



失語症と構音障害・認知症の違い

- 構音障害との違い

定義：発声発語器官（肺・声帯・軟口蓋・舌・顎・口唇）の運動麻痺や筋緊張の異常、協調運動障害によって生じる発話（speech）の障害

→いわゆる「**ろれつが回らない**」状態

構音障害は、言語機能は保たれているので50音表が有効
失語症は、50音表は基本的に有効ではない

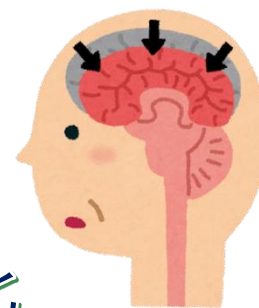


- 失語症と認知症の違い

基本的に失語症患者は**知的機能が保たれている**。**言語機能面のみの**障害をきたす。

脳の全体の障害⇒認知症

徐々に**悪化**



言語野の障害⇒失語症

徐々に**改善**



失語症の地域支援

地域における失語症支援とは

失語症者の54% 家族の72% が
社会参加に困難さを感じている

NPO法人日本失語症協議会(2017)



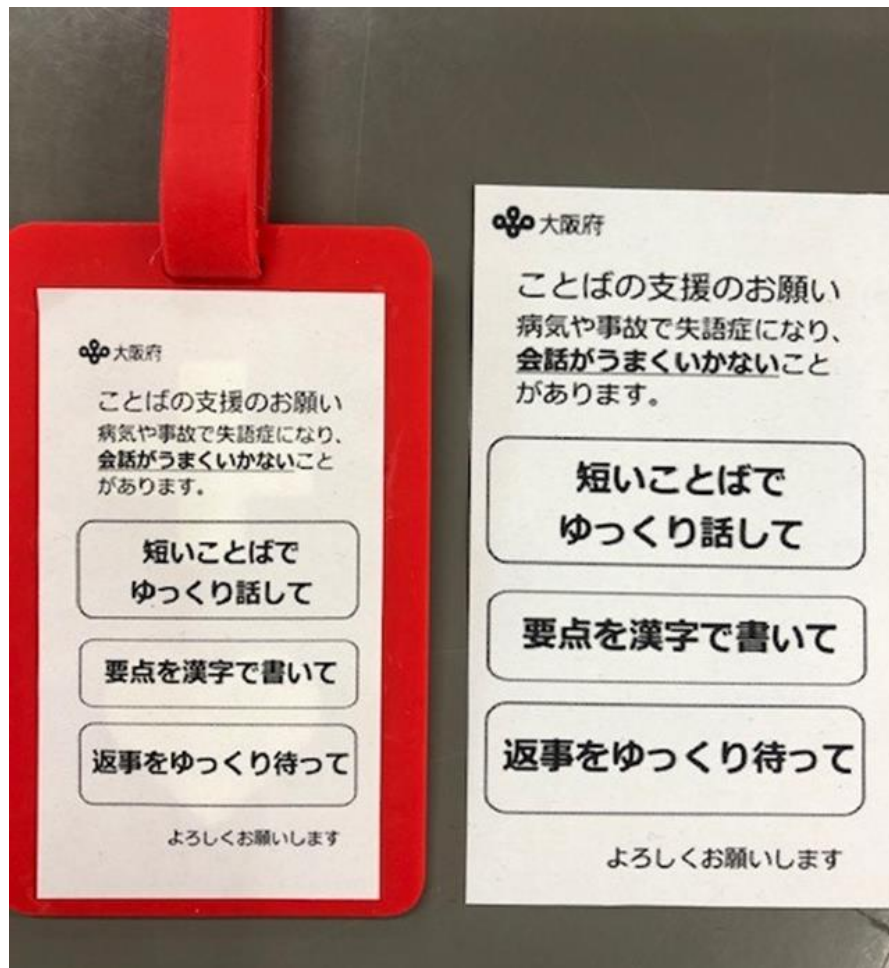
失語症の人にやさしい社会の実現のために
コミュニケーション・バリアフリーの環境を作る

「失語症の人の生活のしづらさに関する調査」提言より
失語症友の会連合会(2013)

コミュニケーション・バリアフリーとは

- ①失語症者が意思疎通しやすい **人** が社会の様々な場所において、会話の困難さが軽減されること
- ②コミュニケーションの困難さに配慮のある社会参加の **場** が増えること

言葉の支援のお願いカード



- ・失語症は外見からはわかりにくい障害である。
- ・自分で障害について言葉で説明することが難しい。
- ・外出先でコミュニケーション支援を受けやすくするために配布されている。

大阪府福祉部 障がい福祉室 自立支援課
社会参加支援グループ 作成

失語症意思疎通支援者養成事業

都道府県必須事業として

- ・2018 失語症者向け意思疎通支援者養成事業開始
- ・2019 派遣事業開始

失語症意思疎通支援者養成事業

- 障害者総合支援法の地域生活支援事業の中の「意思疎通支援」に位置づけられる

- 失語症者の社会参加を促進するため、

失語症者のコミュニケーション支援に必要な知識及び技能を有する意思疎通支援者を養成し、団体または個人に対して派遣する事業

団体派遣

失語症者の自立した生活又は社会参加の支援を目的とする団体への派遣

失語症友の会
自主グループ
失語症サロンなど

支援の体験
個別のニーズの聞き取り



個人派遣へ

個人派遣

支援者には行政から報酬が支払われる

個人派遣を開始している自治体はまだ少ない

失語症者向け 意思疎通支援事業をご利用ください



「失語症者向け意思疎通支援者」とは失語症のある人の「伝えられない」「理解できない」場面等で、コミュニケーションを支援する人です



支援者を派遣できる場面



会合や会議等の場

内容の理解や発言時の支援



公共施設の利用時

窓口での応答支援



病院や薬局など

医師や薬剤師との応答支援
問診票記入等の支援



公共交通機関の利用

放送アナウンス、経路等の理解を支援



買い物の場

店員さんとの対応支援



その他、世田谷区長が

「適当」と認めるもの

失語症に配慮のある活動の場

失語症カフェ

失語症サロン

自主グループ 友の会

失語症デイサービス など

参考資料

- ・『失語症の人と話そう 失語症の理解と豊かなコミュニケーションのために』 地域ST連絡会 失語症会話パートナー養成部会 編集 中央法規 2004
- ・森田秋子・春原則子『動画と音声で学ぶ 失語症の症状とアプローチ』三輪書店 2019
- ・失語症 コミュニケーションのしおり 東京福祉保健局一般社団法人東京都言語聴覚士会 イラスト引用
- ・『会話ノート』 有限会社エスコアール 1999
- ・『脳卒中のリハビリテーション』東京都老人総合研究所 東京療育院附属病院 1984
- ・八島三男:失語症の人の生活のしづらさに関する調査 NPO法人全国失語症友の会連合会 2013
- ・米谷瑞恵『こう見えて失語症です』 主婦の友社 2022
- ・松田江美子:地域における失語症者への社会的支援～最近の動向～
高次脳機能研究 2019 39巻3号
- ・深浦順一、立石雅子:地域における失語症支援、高次脳機能研究 2018 38巻2号

ご清聴
ありがとうございました

